

令和6年度第1回子ども・子育て会議議事録

開催日時	令和6年7月5日（金）18時30分から20時まで		
開催場所	辰野町役場 大会議室		
出席者数	21人 【委員】 10人 ※敬称略、順不同 林 まどか P T A連合会長 上條 美幸 保育園保護者協議会長 三澤 洋之 平出保育園保護者代表 大井田 由佳 学童クラブ保護者会長 小澤 久仁子 主任児童委員代表 佐藤 幸子 信州豊南短期大学 幼児教育学科教授 小林 テル子 町議会 福祉教育常任委員長 有井 直美 学童クラブ支援員代表 有賀 美智代 保育園長代表 鈴木 亜紀子 保育園主任代表 （欠席者3人） 【事務局】 11人 武居町長、山田副町長 子育て応援課 高倉課長、高津、田中、井出、殿内、福島、野澤 学校支援課 小澤課長、宮原		
会議の公開	公開（傍聴できる）	傍聴者数	6人
配布資料	① 会議次第等 ② 資料1 辰野町子ども・子育て支援事業計画【第3期】の策定に係るニーズ調査の実施について ニーズ調査票（未就学児童用・就学児童用） ③ 資料2 平出保育園、東部保育園統合の進め方について ④ 資料3 人口統計について ⑤ 資料4 新たな子育て支援施策について（令和6年度）		
会議概要	1. 開会 2. 委嘱書交付 3. 町長あいさつ 4. 委員・事務局職員紹介 5. 子ども・子育て会議の役割等について 〈子育て応援課長 説明〉 6. 会長選出 〈林さんを選出〉 7. 会長あいさつ 8. 協議事項 (1) 辰野町子ども・子育て支援事業計画【第3期】の策定に係るニーズ調査の実施について 【事務局より 資料1説明】		

この計画につきましては、市町村は策定が義務づけられておりまして、必ずどの市町村にもあるといった計画でございます。保護者様に配る案内につきましては、この量（今回会議内で配布したもの）を配らない予定でいるんですが、A4の両面くらいでこのような調査をするというご案内をつけて配布をする予定でございます。またインターネットでの回答となっておりますので、QRコードまたはURLからアクセスして回答いただくということになっております。質問数は未就学児童用の方が多くなっております。これは国から指定された項目ですので、そのまま使っております。未就学児用で申しますと、11ページ以降が子育てに対する意識についてお伺いしますということで何本か問がありますが、こちらが主に町で独自につけさせていただいた項目となっております。

【質疑応答】

<委員>

就学児3ページ問8のところ、「お子さんの子育てをする上で気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか」、「あるの方は問8-1へ」というふうになっているんですが、いない方はもうそのまま問9の方に行ってしまうような問になっています。ここの気軽に相談できる場所がない方についての聞き取りってとても重要などころではないかなというふうに思っていて、そこところは設問を、設けた方がよろしいのではないのでしょうか。

もう一点、保育園の小さい子どもさんに対しては保護者に聞き取りということで良いと思うんですけども、子ども達も大きくなりますと、ちゃんと自分の考えとか、そういうものを持っていると思いますので、この調査票は調査票としてやるんでしょうけれども、児童への聞き取りとかそういったものをなさるといった考えはないのでしょうか。

<事務局>

ではまず、ご質問いただいた問8でいないというところから問9へ行くというところで、ここに何か原因があって、相談する場所もない・相談する人もいない、ということの場合に、何か質問を挟んだ方が良いというご質問でよろしかったでしょうか。

<委員>

そここのところにあった方が、こういうところで相談が出来るという出し方をすることもできると思います。

<事務局>

この間については、国の質問通りになっておりまして、そのままになっておりますので、今いただいた意見について持ち帰らせていただいて、検討させていただきます。

それから次が、子どもの意見を聞くということでしたね。この計画については、実際はそこまでを想定していないです。ただ、今国の方でも子どもの意見を聞いて、ということが言われておりまして、意見を聞くというかたちがどのようなものかという研修が国の方でもあったりしています。私達もできれば来年度あたりにそういったことができればいいかなというふうに今の段階では考えています。

<委員>

ニーズの調査を行って、そのニーズに対して求めるものを第3期子ども・子育て

支援事業計画に入れていくということだと思っておりますが、第2期がどうだったかというフィードバックのところ、この第3期の計画策定にあたってまず見えていないところでもあります。また、この3期も5年間となると、未就学児のニーズを確認しても5年後には小学校に上がっていると思うので、保育園と小学校ではちょっとニーズというか、保護者の考え方に若干乖離があります。自分も子どもが今、1年生と2年生にいますが、保育園の時は、親の仕事の都合で預けるという前提であったかと思うんですね。ただ小学校に行くと、子どもが中心になるので、親の就業はあんまり関係なくなっているところを保育園から小学校に上がった時に感じました。この5年間という部分でいくと、結構先が見えない。特に第2期はコロナもあったので、急激な色んなものの変化があったと思います。町としてのビジョンや案を、策定するにあたって、明確に示していく必要があるのではないかなと個人的には感じています。

<事務局>

まず初めにご指摘いただきました実績については、おっしゃる通り第2期の事業計画に対して実績がどうなっていたのかというのは必要だと思っています。本当はこの席でそういったお話もできれば良かったんですが。次回行う会議の時には計画の素案も示させていただくと同時に、第2期の実績も入れながら、この実績と今後の予測がどうかというのを見ていただければいいかなというふうに考えているところでございます。

それから、確かに5年間という長い中で、恐らく急激に変わってくるということが想定されます。ですので、5年間何もしないということではなくて、できれば1年ずつで見直しをしながらこの計画を変えていくというのが必要かなというふうに思っております。今までは実はそこまではやってこなかったんですけども、ここ最近の急激な児童数の変化だったりとか、現状もう児童数が減って、学校も減り、それから保育園も減るといことも今後新たに出てくるというようなこともあると思われまますので、それを踏まえてできれば年度ごと見直しができるればいいかなというふうに考えております。

<会長>

子育て支援のニーズ調査ということで、先ほどおっしゃっていた通り子育て支援もそうなんですけど、やはりその子どもへの聞き取りですとか、ちょっと言い方が適切か分からないですけども、ニーズだとか、こういった調査だとか、全く関心がない家庭、いわゆる子育てに対してあまり積極的でなかったりちょっと子どもが放置されているような無関心な家庭といいますか、やはりそういう家庭なんかも私は気になっているところでございます。色々街中で子どもカフェですとか、うちの子どもも大好きで通っているんですけども、やはりそういったところはごく一般的な家庭の子が参加できる。例えばチラシが来たって小さい子は自分で見て、その時間にその場所に行くことができないですとか、それを別に親が関心がなければ、そのチラシだとか、その政策に対して、子どもに届かないわけであって、そういうことが必要な家庭に対して、やはり届くような支援というものがあつたらいいなということを凄く個人的に感じております。良い政策がいっぱいあつたり、良いニーズがいっぱい出たりするんですけども、やはり本当に必要な子どもにどうやったら行き届くのか。特に小さい子ども、その時間にその場所に自分で歩いて行くこと

ができないような子どもなどに対してのアプローチなんか、今私の中ではとても気になっているところがございます。

<事務局>

本当に会長さんがおっしゃる通り、今回このアンケートをやることで、どのくらいの方に回答いただけるか分かりませんが、やはり多分やっていただく方は、ある程度子育てに関心があったり、今後のことを考えている方が多くやっていただけるのかなんて思っているのですが、もしかするとそういった関心がない家庭においてはこのニーズ調査に反映できないかもしれません。そう考えたときに、やはり子どもの声を聞くというのは今後どうしても必要になってくるかなと思っています。

私も、令和5年度からこの子育て応援課ができて、子どもの家庭状況を見ると、年々色んなことが出てきて、本当にこんなことがあるんだということがかなり多かったことに本当にびっくりしているところです。うちの課ができて、それぞれ担当の保健師や社会福祉士がそういった声をできる限り拾ってはいるつもりですが、拾い切れていないかもしれないので、そこは今後子どもの声を聞く機会を設ければ、少しでもその子をカバーできるのかなというふうに思っておりますので、今後検討していきたいと思っております。

(2) 平出保育園、東部保育園統合の進め方について

【子育て応援課長 資料2説明】

「1. これまでの経緯について」

昭和58年1982年に建築されました平出保育園は、40年以上が経過しております。老朽化が進んでいる他にも、大雨の時には上野川が溢れたこともありまして、また園の横にある県道は交通量も多く、スピードを出して通過する車もあるなど、防災の面や立地状況に不安や問題があり、保護者からも心配の声が聞かれています。平出に住む児童については必ずしも平出保育園にみんなが通う状況ではなく、他の保育園に通う園児も一定数存在している状況です。

保育園として使えるスペースの不足：園庭や遊具、給食室、事務室、駐車場などの整備が十分に備えられず、トイレやプールなどは既存の設備も小学生と園児がそのまま共用で使いにくいといった問題。構造の問題から、多目的ルームのワンフロアでは、年齢別の保育が難しいという保育士からの意見。東部保育園につきましては環境が整っており、児童が少なくなっていることから定員に空きがあり、平出保育園の園児の受け入れが可能な状況ですので、東部保育園との統合は有効な手段と考え、前回の2月に行われた子ども・子育て会議の中で、町の方向性として、東部保育園への統合として、今後この方向で協議していく方針を示しました。

「平出保育園、東部保育園と統合スケジュール（案）」

統合の明確な時期は入っていませんが、今日の会議の後に保護者への説明を考え、統合の時期が決まった後には、毎年11月の入園の申し込みと、それより前の体験入園などの機会に説明をしていかなければならないと思っております。

平出保育園自体も、老朽化が進んでおりまして、設備も古い状態であります。東部保育園につきましては、定員が120人のところ、現在76人ということで、児童が少なくなっていることから、空き部屋が目立ち、定員に空きがあることから、平出保育園の園児の受け入れが可能であります。今の状態のままで統合した場合には、職員や保護者の駐車スペースが不足することが考えられますので、解消するための

整備の期間や、統合の時期が決まった場合には、入園予定者などへ周知する期間も必要になってまいります。平出保育園の老朽化について考えますと、できるだけ早期に統合することが望ましいと考えております。統合時期については、これから保護者との話し合いを進めていくつもりでありますので、今日決定というわけにはいかないと思いますが、この場で委員の皆様意見を聞きながら、統合の時期について方向性を出していただき、この話し合いの結果に沿いながら、保護者との協議、説明をしていきたいと考えておりますので、どうか皆様の意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【質疑応答】

<委員>

今課長さんからご説明していただいて、経過としては統合ということで、地域の方や保護者の方、それからここにある平出保育園のあり方検討委員会の解散ということで、具体的に前に進んでいるんだなということを今日感じました。これからは統合に向けて何を大切にしていかななくてはいけないかということに入るのかと思います。まずは地域の子どもや園児についてのサポート、それから保護者会、そして地域の方々、それから保育士や行政について、それぞれの部署でどんなサポートやどんな進め方をしていかななくてはいけないかということを具体的に検討していくことが大事かなと思います。

園児については平出保育園から東部保育園に行かない子どもさんもいらっしゃるんですけども、環境が変わるといって、川島小学校もこの間たつの新聞にありましたけれども、西小学校へ行って一緒に授業を受けたりして、新しい環境に慣れる準備を進めているという記事がありました。そして実際に川島小学校の中には、子ども達がスムーズに新しい環境に慣れるためにどんなことをしていったらいいかということを考えるコーディネーターの先生がいて、その先生が具体的に様々なことを進めているということを川島小学校の会議のときにお聞きしました。またこの間の運動会では最後の運動会ということで、先生方と子ども達が川島と川島小学校についての思いを色々な競技の中に入れて発表するというのもありました。子ども達が一つずつそうやって自分の環境が変わっていくということを色んなところで実感しているこの1年なのかなというふうに思いました。地域の方々もそんな思いで運動会を見ていたのかなと思います。

それから保護者についてなんですけれども、統合ということで先の見通しができて、じゃあどの園に入れたらいいのかなというふうに思っている方などは、計画性を持って子育てができるという、いい面もあるのではないかなと思います。でも平出と東部が一緒になるわけですので、それぞれの地域性もありますし、東部保育園の保護者会の行事や平出保育園の保護者会の行事、色々地域性があります。そういうようなところもこれから話し合いの中で進めていくことも大事かなと思いました。

それから以前ですけれども、宮木の保育園が中央保育園に統合する時に、ちょうど私宮木の保育園で保育士として働いていました。その時に保護者会と職員が何回も話し合いをして進めていって、保護者会の方も色々協力してくださったり、行政や保育園の方でもできることをみんなで進めていきました。中央保育園に宮所の保育園と宮木の保育園が一緒になったんですけれども、とてもスムーズにいったという

記憶があります。なのでやっぱり子どもに関わる人達がしっかり話し合いを進めていくことが大事なのかなと思いました。

あと地域の方々についてですけれども、我が子や孫や、それから自分も平出保育園でお世話になったという様々な方がいらっしゃると思いますので、その思いとか思い入れというのは、長い歴史の中で大切にしていかななくてはいけないのかなと思います。

なのでただ統合するというのではなくて、川島小学校もそうですけれども、記念行事や、地域の方が川島小学校に行く地域参観日ということで子ども達の様子を見るということがあったり、閉校記念祭式典などもあります。地域の方々の思いも大切にしていくために、具体的にどんなことができるかということもみんな話合っていくことが大事なのかなと思いました。これからは行政とか地域とか保育士とか保護者会、それぞれが統合に向けてスムーズに進めるように話し合いの場を作っていくことが大切なのかなと思いました。

では時期についてですけれども、やっぱりこういう話し合いの中で、子ども達、園児、それから地域の方々が納得していくかたちで進めていけばいいのかなというふうに思っています。今年少さんが年中・年長になった2年後の卒園式がちょうど平出保育園最後というような、そのぐらいのスタンスがちょうどいいのではないかなというふうには思いますけれども、それは私が決めることではなくて、やっぱりそこに関わる人々が話し合いの中で進めていけばいいのかなというふうに思っています。

<委員>

私、平出保育園の保護者代表ということで、昨年度と一昨年度、2年続けて保護者会長をさせていただきました。この平出保育園の統合の問題は、やはり平出区の皆様の思いもあったり、保護者の皆さんの色々な思いも伺いながら、この2月の会議の中での決定を受け入れるかたちになり、もう受け入れると決めたので、これから先統合に向けて進んでいくと思いますが、やはり保護者の皆さんが一番知りたいのは、スケジュールなんですよね。いつなのかということが明確に見えてくることで、先ほどありましたように、計画的にどこの保育園に入れようかと考えられる。もしかしたら仕事の都合もあったりするかと思います。

ただ、一番最初に老朽化ということがあったんですが、安全面ということが最優先にされればいいなと思います。川の危険、道路の危険、老朽化の施設の危険、子ども達が安全にということであれば、ここのタイムスケジュールは先延ばしにすることが決して望ましくはないのではないかなと私個人的には感じています。

あと、保護者会への説明ということは、また今後町の方と調整させていただいて、先ほどもありました、スムーズに進めるためにどうしていけばいいのかについて、それが1回なのか2回なのか、話し合いをするということだと思いますが、先ほどの支援事業計画の第3期のところもニーズ調査というのがあるので、統合に向けて、ニーズのみでいいのかというのもあるんですが、それと同等の調査をしてもらいたいなと思います。

これは今平出保育園の問題が前面に出ておりますが、やはり町全体で考えなければいけない課題であるかなと思っています。当然小・中学校のあり方検討委員会もありますし、その中で今後の保育園がどうあるべきなのかなということもただ統合で

はなく考えていけたらいいなと個人的には思います。

<委員>

統合ということに話が進んでいるというところにはなるんですけども、一つ気になるのが、お子さんたちの環境が大きく変わるところです。私が会長を務めています小野保育園は、塩尻市の北小野保育園と小学校で一つになるんですけども、早い段階から遠足などの行事の中で交流を持つことで、一緒になったときに抵抗がないようにやっています。今後、平出保育園のお子さん達が親御さんのお仕事の都合とかでどこの保育園に行かれるかというところは分からないんですけども、東部保育園なら東部保育園を希望される保育園のお子さん達との体験ではないんですけども、統合する前にちょっと交流を持って環境に慣れていただくとか、そういうかたちの段取りではないんですけども、急に環境を変えということをしていただかないようなフォローとかをしていただいた方がいいのかなというふうに思います。お子さんによっては急に変わること、とても抵抗を受けて馴染めなくなってしまうお子さんも今のお子さん結構多かったですので、そういったかたちで急に環境を変えないという方法を踏んでいただければと思います。

<委員>

統合という方向性は一定決まったということのようなんですけども、やはり地元の方達や、もちろん今通っている方もそうでしょうし、それから地区にいらっしゃる方達とかに、説明を丁寧にされていくということと、それからこれからの聞き取りについてもそうだと思うんですけども、なるべく何度もそういう会を催していただきたいと思います。

保護者の方達がどういう心配を持っているのかということ、しっかり聞き取りをして、今日の会議で方向性を決めていくということもあると思うんですけど、やはり地元の方達の意向というんですか、その部分はしっかりと聞き取って欲しいなということが一番思います。そこの方達との意思疎通がしっかりできないとやはり良いかたちの統合というものになっていかないのではないかと思いますので、会議は何回も開催していただいて、そして多くの方がそこに参加をして、そして自分達の意見がきちんと反映されるようなかたちの良い統合というんですか、そういったものに進んでいけるようにしていただけたらと思います。若干その部分が前回の会議のところで心配であった部分でありますので、地区とのやり取り、保護者とのやり取りということ、これを課として丁寧にやっていただけたらということ、を要望したいと思います。

<会長>

私の長男と長女も平出保育園に通っていました。今長男は6年生ですが、もうその頃、10年くらい前からこの話は出ていたように思います。今もう統合という方向性に決まって、今日の会議での一番のポイントは、時期というところであるかと思えます。川島小学校での活動ですとか、あと両小野での活動、安全面のところ、皆さんさすが素晴らしい視点をお持ちだなと思って、そこはもう大前提としまして、そこら辺をもちろん含めた上で、やはりちょっと古くなっているというところも踏まえて考えると、来年ということは難しいかと思えますが、最短で再来年ではないかと私は思っております。それだとすっきりと全員卒業じゃなくて、転園しなけれ

ばいけない子達が出るわけですね。なので、その子達には配慮しなければいけないと思いつつ、環境の部分でも大事なんですけれども、それと安全面のところを天秤にかけるのはとても難しいところではあるんですが、安全面のことを考えた時には、私の思いとしては最短のところ再来年の4月が妥当ではないかと思っております。これは今日ここで決まることではございませんが、もちろん平出保育園の保護者の皆様に聞いていただいてこういう案でどうですかというようなところで、時期の具体的な提案なんかもしてもいいのではないかなというふうに思っております。スケジュールが一番気になるというのはやっぱりそうだと思いますので、その辺りを皆さんからざっくばらんに意見を聞くことも大事ですけれども、ある程度提案した上で、再来年度ですか、その次どうでしょうかねというような具体的な提案でもいいんじゃないかなというふうに思っております。平出保育園の保護者の方達も、そろそろお別れなんだなというようなことは皆さんもう分かっているというか、それを承知で入園してきているというような感じですか。

<委員>

承知というよりも、「いつなんだろう」の方が先かなと思います。今年度の新入園児が7名なんですけど、新たにその7名については未満児からそのまま上がった子達が7名なので、新たに平出保育園に来た子は多分今年度の新入園児はいなかったと思います。なのでやはり、その統合というものに対して各ご家庭で判断をいただいて、もう既に計画を進めているご家庭はあるのかなと思っています。

<会長>

転園したい、したくないとかそういうことよりは、いつなのかなというのがやっぱり一番気になっているというような感じで、その点だとか、環境が変わることに関しては皆さん覚悟してらっしゃると言ったらあれですけども、未満児から全員入ってらっしゃるということは、一応承知でいらっしゃるといことですね。

<子育て応援課長>

今いる年少の方とかもいるので、その方が卒園するまでですか、平出保育園保護者会長さんからは、やっぱり先延ばしすることもないということもおっしゃってましたし、やっぱりスケジュールのことが皆さんも気になり始めているということですので、一つの考えとしては、年少さんもいるということなので、3年間ぐらいがタイムリミットのような気がしているんですね。なので、その時期についてはそういったことも踏まえて、スケジュールを早めに出さないといけない部分もありますので、時期についてももう少し意見を聞きたいと思っております。会長さんの再来年というのは、令和8年の3月31日、来年度いっぱいということですかね。

<会長>

年度でいうとこの4月ということになってしまうので、それだと早いのかなと思っていて、今年度決まったから、来年度、最短で再来年ですね。でもそれだと年少さんが転園にかかってしまうということですよ。

<子育て応援課長>

年少さんが、そうですね、今おっしゃられた通り転園というかたちになりますね。ぜひご意見でなくて、思いですとか感想とかでも結構ですので、出されてない方、端からマイク回してもよろしいですか。

<委員>

私はこちら（町内）の保育園にお世話になったのが子どもが3人いるうちの一番下だけで、あとは海外におりまして、海外から帰ってきて、保育園ではなくヨゼフ幼稚園の方へお世話になりました。海外にいたところでの思い出も色々ありながらこっちへ帰ってきて、意外と子どもは慣れるというか、その環境で親がそこに行くよと言って、安心してそこへ親が預けられるというふうに思っていると、割と子どもは安心していくのかなというふうに思います。そこでまた新たに友達を作ること小・中と上がっていけばどこで誰か知り合っても同じというか、適応能力でいうと子どもは強いかなというところでは。

ヨゼフもそうなんです、安全面・耐震構造が安全じゃないというふうに聞いて、それで地震起きたらどうなるのという、そこはすごく保育園の時に心配してましたので、そういう点では、早く時期を決めて、先ほど皆さんおっしゃっていたように、交流をしながらこういうところに行くんだよという心づもりを子ども達にも親にもさせながら、早いうちに移動するのがいいのかなというふうに思います。

<委員>

今お話伺っていても、色んな視点で見えていかなきゃいけないなということは感じたんですけども、一つは子どもの立場から言うと、例えば最後の1年だけ違う保育園に行くというのは子どもとしてはちょっと寂しい気持ちもあるだろうし、でも逆に考えると今度は建物の安全面とか、そういうことから考えると、本当に待ってられないんじゃないかなという気持ちもします。だからどちらがいいかというのが今私としてはまとまらないんですけども、それだったらまず、とにかく交流を盛んにしていく。もう辰野町全部が一つみたいな感じで、他の保育園のお友達もお友達なんだよと、小学校に上がったらまた一緒になったりしますから、その辺りの交流を盛んにしていくというのも一つの方法ではないかなと思います。あとは保護者の方の、どういうふうにすると一番安心して子ども達を保育園に預けられるかという、そこにもやっぱり保護者の方々の意見をしっかり聞いてあげることもすごく重要じゃないかなと思います。

<委員>

学童クラブの話とは別なんです、私は自宅が箕輪町にあるんですけども、近くに木下保育園が数年前にできまして、自分の子どもは木下南保育園と木下北保育園を渡り歩いたようなかたちで過ごしていて、木下保育園には結局通わずにいたんですけども、統合するというふうになった時に、木下南保育園の近くに新しく建ったんですよ。木下北保育園の子ども達もそれなりにいたんですけど、結構距離ができてしまって、移動してそこまで通うということについて話し合いが色々されていたんですけども、やっぱり施設が本当に古かったので、耐震のこととかが両方ともあったりして、もちろんお子さんが何歳になったらとかということもあるんですけども、安全面ということが一番に考慮してあの計画は立ったのではないかなと思います。あと子どもの少子化や保育士の人数の不足とかもあって、そういう統合ということになったと思います。お子さん一人一人の気持ちを考えつつも、やっぱり施設の老朽化ということがどうしても優先になっているんじゃないかなということを自分の地元の話としては実感しております。

<会長>

皆さんの意見を踏まえまして、事務局の方から今後の進め方について、説明をお

願いたします。

<子育て応援課長>

色んな意見をいただきまして、ありがとうございました。事務局でも今の意見をまとめますと、まず地域性ということがありましたが、そういったことは平出保育園でも多分お寺にみんなで行くといったこともあるので、東部にもし統合してもそういった行事はできるだけやって、大事にするようなことを考えていきたいと思えます。

安全面の部分につきましては、平出保育園につきましては場所を見ると分かる通り、他の園と違って前に県道が走っている、そして川も流れている、裏には山もしよってるということで、最近大雨になるような温暖化の影響によって危ない面も心配される保護者が増えてきているということから、それは考慮していかなければと思っております。統合するにつきましても、地元の方に配慮しまして、また保護者達へはしっかり説明して、不安を払拭するような感じで何回か話し合いを行い、要望も聞けたらと思っております。

それから交流の話も出ましたので、こちらにつきましてもぜひスムーズに統合できるように、園児や園児の親達に配慮できるようなことも保育士と協力して進めていけたらと思っております。なるべく先ほどのタイムリミット的にはやはり老朽化も考えたり、危険性の心配ということも考えまして、長くても年少さんが卒園するまでの間、それから先ほどの最短で来年度いっぱいということも考えながら、保護者に説明をしていけたらと思っております。

今事務局的には、先ほど私の方で説明しました駐車場の問題ですとか、周知にもそこそこ時間がかかるということで、準備していくには今年度はとても無理であります。最短では来年度いっぱい、それで先ほどの意見も踏まえて長くてもというか、年少さんが卒園する、その次の年ですね、そういったことで来年度いっぱいか再来年度いっぱいかなと今聞いていると思っておりますが、この辺りにつきましてはどう思いますか。例えば来年度いっぱい、ここでは決まりませんが、方向としましてはその二つで保護者に説明をしていくか、どちらかに決めてそれを柱にして説明していけたらと思うんですが、その点についてはどうでしょうか。

<会長>

ただいま事務局の方から今後の進め方について説明がございました。来年度か再来年度かぐらいで、最短のルートで行くか、年少さんが卒園するところで切りよくというところで行くか、というあたりですが、ここで決めるわけではございませんが、そういった方向性で行ったらどうかなという感じではございますが、ご意見ございますか。

<委員>

この場でスケジュール、いつというのがすぐ決まる話ではないと思いますが、やはり保護者への説明の中で、具体的な部分を提示できることの方が納得感というか、説明はしやすいですし、町側の方も良いかと思っておりますが、そのところはご意見を伺いながら丁寧な説明をしていただければと思います。それを踏まえてスケジュールを決めていただければと思いますが、結局保護者会の説明って実は結構何回か過去に行っているんです。当然その間には平出区の方であり方検討委員会があったり、東小と併設、東部との統合という2案の中での説明だったんですよね。ただ今回は

説明をするに当たっては、東部保育園と統合に向けて進めていきますということをお大前提とした上での説明になるので、ただの説明ではなくなってくると思います。なので数回話し合いを行っていく中で決めなければいけない部分はありますが、11月の入園申し込みの段階では、先ほど出ていた最短という部分を考えると、スケジュールの方向性は見えていないといけないのかなと個人的には思います。

<子育て応援課長>

今おっしゃる通り、こちらでも説明しやすい方法と言え、こちらとしてはもういついつに統合を考えているということも入れた上で説明ができるので、あとはそれについて反対等あれば、そこでまたもしかしたら修正になるかもしれませんが、こちらとしてははっきりと方向が出れるのかなと思います。そうでなければ、先ほどの2年か3年という両方の案の提示ということになります、どうでしょうか。もう一方に絞るか、2年か3年かという、両方で持っていくかというところかなというふうに思っていますよね。

<委員>

皆さんの意見はあると思うんですけど、一回話し合いの場を開いて、保育園の保護者会に説明会を行っていただいた上で、また皆さんに提示していただいてもいいですか。多分ここでどうですかと聞いて、来年とか再来年ということを提示して持っていくのは、説明はしやすくなると思うんですが、一旦平出保育園の保護者の皆さんへ説明会を設けていただいた上で、どうですかというご意見を伺って、また皆さんのご意見を伺っていただけたらありがたいなと思います。

<委員>

危険度だとか、そういう中で、だからこの案・この時期だという、そういった提案をきちんとされていかないと、今どちらがいいでしょうかねというふうに投げかけをしていただいているのは、民主的なようでもあるわけですがけれども、非常に大事なことを決めていくわけですから、事務局としてもそれなりのものを持たれて、そこにはこういった根拠があるからこうなんだというところを、やはり保護者の方達にきちんと示していただかないと、グラグラしてしまってなかなか決まっていけないものになっていくと思います。もうここまで来ていますので、やはりその案をきちんと行政側の方が持って、そしてきちんと保護者の方へ説明をされるという、そういう場面が私達としては望ましいのではないかなというふうに思います。その辺りの事務局のシミュレーションというんですか、計画案というものを今日はここまでだと思いますけれども、しっかりと持って説明に行っていただきたいなというのを思います。

<子育て応援課長>

今日は様々な意見をお聞きしましたので、今日の意見をまとめたりして、まず一回保護者説明会で今日のことも伝えて、話し合ってみたいと思います。その後また皆様に報告しますし、そういった方向でまずは話してみて、今日の皆さんが話された意見は伝えるようにしますので、それで保護者と話し合うようにしたいと思います、よろしいですかね。

<会長>

皆様のご意見ですと、来年度か再来年度かという2案ですがけれども、ここで出た意見も踏まえて、一回保護者会を挟んで、その2案の中で選んでいただくでもない

ですけれども、当事者の保護者の方にまず聞いていただいとこのをちょっと一回挟みますかね。段取りとしてはそういった感じでよろしいですか。噂とかで、平出保育園の保護者が来年度か再来年度かとそわそわしてしまうといけないですから、説明会なんかも早めにやっていただいて、方向性が早めに決まるといいかなとは思っています。

(3) 人口統計について

【事務局より 資料3説明】

質問・意見なし

(4) 新たな子育て支援施策について

【事務局より 資料4説明】

質問・意見なし

9. その他

<事務局>

次回の会議予定でございますが、今のところこの計画に関しては11月頃かなというふうに思っておりますが、先ほどの平出保育園の関係のスケジュールからすると、一回保護者との打ち合わせを経て、皆様に報告をする時が必要かなと思っております。その時はまた皆様に通知をさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

10. 閉会